

2022年7月31日 2022年オープンキャンパス・シンポジウム 女子高生の知らない工業大学の世界 ～私たちの理工ストーリー～

大宮キャンパスのオープンキャンパスに合わせて、システム理工学部、男女共同参画推進室、SDGs推進室、入試部の主催で、上記シンポジウムが大宮グローバルラーニングコモンズにて開催されました。「工業大学」がダイバーシティの考えのもとに学びの場や生きる力を養う場となるには何が必要か討論し、女子高生に工業大学の今を知ってもらうことを趣旨としました。参加者は予約申し込みが93名でした。齋藤記念館に同時配信され、予約なしでも随時見られるようにしました。

基調講演として、環境システム学科・磐田朋子教授から以下のような講演がありました。技術者は、今は関連分野を含むシステム全体で考える力を持つ技術者が求められています。例えば、脱炭素社会の実現には、技術開発だけでなく、合意形成やビジネスモ

デルの構築などの課題を解決する必要があります。社会問題の解決には、理系・文系の枠はありません。

続いて、本学と教育連携協定を結んだ山脇学園中学校・高等学校の西川史子校長から山脇学園の取り組みの紹介が以下のようにありました。理系文系の教科横断型の教育として「総合知カリキュラム」を展開する、「科学チャレンジ」で研究活動をするなどの取り組みをしています。不確実な時代に対応するために、「志」を大切にするように指導しており、志は自分の決意だけでなく他者を思いやる心をもつことが重要です。

後半は、システム理工学部在学あるいは出身の女子学生・大学院生8名によるパネルディスカッションがあり、以下のような意見が出されました。工業大学を選んだのは、学だけではなく、学生プロジェクトな

システム理工学部 機械制御システム学科
教授 吉村 建二郎

どで実践ができる機会があるからです。学生生活では、男女にとられない人間関係が築けます。大学では、コミュニケーション力が鍛えられ、チームで行動する力がつきました。就職活動では、大学で身につけたことを見せるだけで十分でした。最後に西川校長が、芝浦工大はきめの細かい教育を提供している、学生は必ず何かを掴んで卒業していることが分かったと締めくくりました。



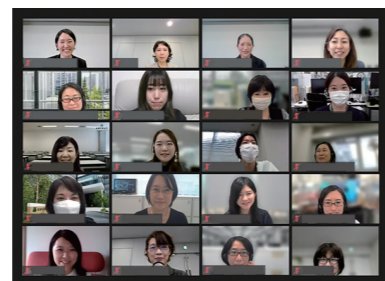
2021年9月13日 男性職員座談会 男性職員のイクキュウ ～多くの女性が経験する育児と業務の両立に、男性は～



今育児に向き合っている男性職員に、育児と業務の両立、育休の取得、職場・同僚・学生たちへのメッセージについて語ってもらいました。

▶URL: <https://bit.ly/3X9hESs>

2022年9月8日 女性職員座談会 私立大学における女性職員の キャリアとwell-being【対面 & オンライン】



日本のジェンダー・ギャップ指数を押し下げる、女性管理職比率の低さは何が要因なのでしょうか。本学で管理職として働く女性職員4人がこれまでのキャリアを語ることで、女性職員一人一人が今後のキャリアのヒントを見つけました。

▶URL: <https://bit.ly/3Yv2o3y>

■その他の活動

日付	内容	URL
2021.12.18	男女共同参画推進シンポジウム 「サステナブル社会を創るためのジェンダーダイバーシティ」【オンライン】	https://bit.ly/3x9CiYc
2022.1.21	男性の育休取得を促進するためのFDSD「改正育休休業法」	
2022.9	「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」(事務局・内閣府) に参加	https://bit.ly/3HEdWKT



NEWSLETTER

発行/芝浦工業大学男女共同参画推進室 Gender Equality Promotion Office, SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

男女共同参画推進室から



男女共同参画推進室
担当室長 吉川 倫子

well-beingを感じられる環境の実現を目指して

超高齢化社会に直面する我が国は、国際競争力の維持・向上と活力ある社会や未来を拓くために理工系人材の質的充実と量的確保に向け、戦略的に人材育成に取り組むことが必要であり、工業大学である本学はその責務の一つを負っています。

本学は創立以来の建学の精神のもと、現在は「世界に学び世界に貢献する理工系人材育成」を教育目標として人材育成を行っており、そのためには、多様なメンバーがそれぞれ尊重され、力を発揮し、イノベーションをもたらす大学になることを目指しています。そ

して、多様性拡大の重要な一部として理工系女性の育成を全学的に取り組んで参りました。

具体的には、女性教員を積極的に採用する学長の戦略的人事、子育て世代の研究者への支援、柔軟な勤務体制の構築等環境整備を行う他、次代を担う理工系女性人材の育成を目的に、大学では公募制推薦(女子)入試や入学促進奨学金を導入しました。

これらの取り組みについては、今後も継続するとともに、社会からのニーズを踏まえ、都度改善してまいります。幅広く多様な人々を尊重し受け入れ、教職学が共に力を発揮し、well-beingを感じられるような芝浦工業大学の実現を目指しています。



男女共同参画推進担当
副学長 渡部 英二

男女協働での 大学運営

芝浦工業大学では、技術者マインドを持った女性が活躍することを阻む見えない鎖を断ち切るための一助として、総合型入学者選抜における女子枠の設定や女性教員の積極的採用に取り組んできました。しかしながら、大学を運営する立場である学長、副学長、研究科長、学部長、および各長の補佐を見渡してみると、女性の数は極めて少ないと言わざるを得ません。それを打破する第一歩として、この2月1日よりシステム理工学部環境システム学科の磐田朋子教授が副学長(男女共同参画、SGU担当)に任用されました。これを機に本学は、教学の意思決定プロセスにおける男女協働の場面をさらに大きくし、全ての人が学びやすく働きやすい環境の実現に向け活動していきます。



男女共同参画推進担当
工学部土木工学科教授
学長補佐 川口 恵子

数値による 達成を目指して

男女共同参画を着実に進めるため、中長期計画と毎年の数値目標を8項目にわたり設定し、年度末に達成度を確認しています。学生にかかわる目標値には、①女子中高生に魅力のあるイベントの開催数、②男女共同参画について学び、無意識のジェンダーバイアスに気づかせてくれる講義の履修者数、③女子学生の大学院進学率、④女子学生と社会で活躍する女性先輩とを結ぶShiba-joプラチナネットワークの会員数、があります。教職員にかかわる数値は、①教員の女性比率、②新規採用教員の女性比率、③管理職職員の女性比率、④ワークライフバランスを充実させるための諸制度の利用率やイベント開催数です。全ての項目を達成できない年もありますが、数値をきっかけに、大学、そして、社会の男女共同参画が進むことを目指しています。

芝浦工業大学
女子学生・卒業生・女性教職員の
ネットワーク Shiba-jo
プラチナネットワーク

芝浦工業大学
男女共同参画推進室
Gender Equality Promotion Office

Shiba-joプラチナネットワークは、芝浦工業大学の女性卒業生・教職員・学生がつながり、交流し、お互いに支えあうことを目的に2014年6月に設立されました。メンバーは翌2015年には100名を超え、以後増え続けています。

代表挨拶



芝浦工業大学大学院博士課程
機能制御システム専攻
2021年修了
代表 金丸 真奈美

2022年度からShiba-joプラチナネットワークの代表になりました金丸真奈美と申します。これまでは懇親会等のイベントに参加する側でしたが、この度運営体制を一新するとのことで池田前代表にお声をかけていただきました。私が芝浦工業大学工学部の通信工学科(現:情報通信工学科)に入学した当初、女子学生は全学生の10%程度しか在籍しておりませんでした。これに対し2022年度現在は全学生の19%が女子学生となり、本学も徐々に女性比率が上が

ってきたことを感じています。一方で、まだまだ同じ研究室に2人以上の女子学生が配属される確率が低いのが現状で、女性の先輩たちと関わる機会が少ない状態です。そこで2022年度は卒業生を4人招き、就活・キャリアと社会人のライフについて話せる座談会を開催しました。Shiba-joプラチナネットワークでは女性教職員や在学女子学生、卒業生と交流し、キャリア形成やワークライフバランスについて情報共有する機会を今後も積極的に増やしていきたいと考えています。ぜひShiba-joプラチナネットワークを通じて、異なる世代の女性たちと交流し、自身のキャリアやプライベートについて考え、相談する場として活用いただければ幸いです。



行いました。進路のデータからは知ることができない、実際の職場環境や就職相談、結婚や出産の経験談など、普段は聞くことのできない話で盛り上がり、時間があっという間に過ぎてしまいました。参加した学生からも高い満足度を得ることができ、有意義なイベントにすることができました。(幹事・渡邊 千聖)

■座談会に参加して

今回初めて座談会に参加しました。幹事としての参加でしたが、参加してくださった先輩方や他の幹事の方々に相談に乗っていただいたり、共感していただいたり、アドバイスをいただいたり、自分の自信に繋がるお話を聞かせていただきました。コロナ禍での入学となり、人とのつながりがあまり持てなかった私にとって、こうしてお話できる機会というのはとても貴重なもので、自分の話を持っていなくても話を聞いているうちに自然と話したいことが生まれてくるような、そんな時間でした。将来についても改めて考え直すきっかけになりました。(幹事・江澤 日菜子)

2022年10月8日
女子学生と卒業生の座談会報告



豊洲キャンパスの新校舎である本部棟で、女子学生と卒業生の座談会を開催しました。この座談会では、芝浦工業大学の女子学生と卒業生の交流を目的としています。はじめに卒業生の4名に自己紹介をしていただき、その後2つのグループに分かれて座談会を

2022年10月8日
懇親会報告



Shiba-joプラチナネットワーク懇親会が2022年10月8日(土)14時より交流棟402室にてオンライン併用で開催されました。27名(Zoom参加3名を含む)が参加しました。最初に池田前代表よりこれまでの活動報告及び運営体制の変更について、その後、金丸真奈美新代表より今後の活動についてのお話がありました。その後、参加者全員の自己紹介と近況報告が行われ、最後に男女共同参画推進室吉川倫子室長より大学における男女共同参画に関わる最近の取り組みについて紹介がありました。その後、9月に完成した本部棟のお披露目ツアーが実施されました。懇親会参加者に実施したアンケート回答では懇親会に満足いただけただこと、また、今後もイベントに参加したいとの前向きなコメントをいただきました。(幹事・川口 恵子)

2022年度

新体制のご紹介



代表(卒業生) 金丸 真奈美
情報通信工学科(通信工学科) 卒業

現在は奨励研究員として芝浦工業大学で勤務しています。来年度からは他大学での勤務となりますが、在学女子学生が少しでも女性の先輩と関わる機会を増やしていければと考えています。

幹事(学生) 江澤 日菜子
デザイン工学科 在籍

エンタメが大好きで、舞台やライブに行くのが趣味です。幅広く興味を持って、やりたいことを実現できるように頑張りたいです!

幹事(学生) 渡邊 千聖
生命科学科 在籍

今は福祉機器について学んでいます。今後は大学院でデータサイエンスを学びます。Shiba-joの活動で、院進する女子学生の仲間が増えてくれたらいいなと思っています。

幹事(卒業生) 池田 歩
応用化学科 卒業

これからは幹事としてShiba-joプラチナネットワークの活動を盛り上げたいと思いますので、皆様よろしくお願ひ致します。最近では、仕事と子育ての両立や理工系の楽しさを伝えることに興味があります。

幹事(卒業生) 高橋 舞
情報通信工学科(通信工学科) 卒業

芝浦工大で繋がる女性の皆さんと、各専門分野に関する話題から、仕事・趣味・人生のさまざまなイベントについて情報交換ができたと思います。よろしくお願ひします。

幹事(教員) 宮田 純子
電子工学科 卒業

2人の子育中の教員の宮田です。教員の仕事の他にも、出張を含む学会活動などをこなすために、様々な方の助けを借りながらここまでやり遂げることができています。この経験を若い方にも是非お伝えしていきたいです!

幹事(教員) 川口 恵子
土木工学科所属の英語教員

土木工学科所属の英語教員(文系出身)です。2022年度で定年退職します。教員幹事も卒業です(とても残念!)。Shiba-joネットワークがますます発展し多くの人を繋げますように。

幹事(職員) 張 潤青
情報工学科 卒業

2021年に電気電子情報工学専攻を卒業後、芝浦工業大学の職員として、国際部に働いています。Shiba-joネットワークが女子留学生もつなげられたらと思います。よろしくお願ひします。

運営サポート(職員) 畠山 佳代
環境システム学科 卒業

2005年に環境システム学科を卒業後、本学職員として採用され、現在課長職を拝命しています。小学生2人の母です。卒業生として、職員として、皆様と親交を深められたらと思います。

運営サポート(職員) 川野 亜希
応用化学科 卒業

こんにちは。現在大学に勤めながら2人の子育て真っ最中です。専門分野や年齢関係なく、学生さん、卒業生、教職員の方々が気軽に繋がれる場所をつくってきたいです。どうぞ宜しくお願いいたします!

運営サポート(職員) 土屋 智子
電子情報システム学科 卒業

電子情報システム学科を卒業後、芝浦工業大学の職員として入職、研究推進の部署を経て、現在は情報システム課で働いています。よろしくお願ひします。



芝浦工業大学大学院博士課程
地域環境システム専攻
2018年修了
前代表 池田 歩

前代表挨拶

初代表の山西陽子先生に代わり、2016年より私は代表を務めさせていただきました。任期中は、Shiba-joメンバーの交流を深めるために懇親会を定期的に開催し、女子学生のキャリア支援やオープンキャンパスを通じてロールモデルの提示を中心に活動してきました。これらの活動は、男女共同参画推進室・卒業生職員・卒業生の皆様にご助力いただき進めることができました。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。

さて、今年度より運営体制を一新し、代表を交代いたしました。コロナ禍により活動が停滞したことに加え、今後のさらなるShiba-joプラチナネットワークの発展には、卒業生・教職員・学生の各方面の視点を取り入れることで、縦と横のつながりを

広げる必要があると考えたからです。そのため、卒業生・学生・教員・職員から幹事を選出し、任期を2年と設けました。今後は、女子学生のキャリア支援に加えて、卒業生・教職員向けのライフワークバランスの情報共有、理工系・その他の分野を問わずに芝浦工業大学という接点をもった異業種・世代間交流を重ね、本ネットワークが益々発展していくことを願います。

Shiba-jo プラチナネットワーク
会員募集

芝浦工大に関わる
すべての女性へ

ご興味ある方は、QRコードよりShiba-joプラチナネットワークにご入会ください。本学の女子学生や卒業生向けイベントの企画・運営をお手伝いして下さる方も大歓迎です。

Shiba-joプラチナネットワークについて

▶URL:<https://bit.ly/3Szqybr>

卒業生、教職員は
こちらから



在学生は
こちらから

